

ケースで学ぶ！情報セキュリティの基礎 (ISO/IEC27001:2022 対応)

ISMSを含んだ「情報セキュリティの基礎」最新版！

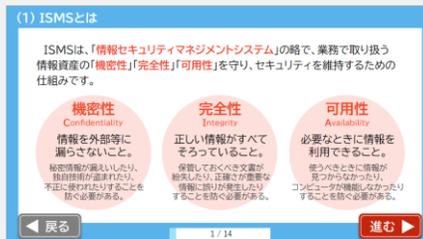
ISO/IEC 27001:2022にもとづいたISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)を含め、情報セキュリティの基礎を学習するコースです。情報セキュリティがなぜ必要なのかといった基本的な考え方からはじめ、メールやウェブサイトの利用、情報の保管から利用・持ち出し・廃棄までに伴うリスク、情報漏えい時の対応までを学習します。

日常的な事例を通じて学習することにより、実際のビジネスシーンでの適切な対処方法や、日ごろ意識しておくべきことが分かるようになります。

POINT 01

ISO/IEC27001:2022に対応

「ケースで学ぶ！情報セキュリティ」のコースに、ISMSに関するコンテンツを追加しました



POINT 02

「気づき→学び→実践」

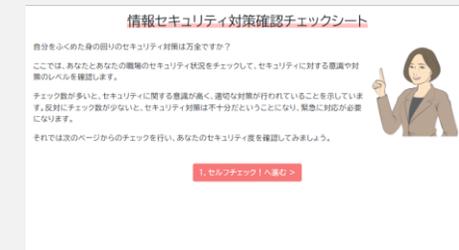
「気づき→学び→実践」の段階的な学習を通して、適切な行動を考えることができるようになります。

レッスン1 気づき	基本的な考え方や姿勢について、事例を通して問題点や必要な前提知識を学ぶ。
レッスン2 学び	レッスン1で気づいた内容と、それに関連する事例について理解を深める。
レッスン3 実践	レッスン1・2で得た知識を応用し、事例において登場人物のとるべき適切な行動を考える。

POINT 03

当事者意識を醸成

事例を通じた学習やセルフチェックによって、当事者意識を醸成します。



ケースで学ぶ！情報セキュリティの基礎 (ISO/IEC27001:2022 対応)

学習目標

- ・情報セキュリティとは何か、情報を扱う際のリスクについて学習し、理解する。
- ・情報漏えいを起こさないため／起こしてしまった際の適切な行動が分かる。
- ・ISMSの基本的な知識や、内部監査にあたってのポイントを理解する。

前提知識

特になし

第1章

情報セキュリティとは何か

- レッスン1 気づき…機密保持を意識しすぎて起きる事故もある
- レッスン2 学び…情報セキュリティの3要素を知る
- レッスン3 実践…情報資産が負うリスクを分析、適切な行動を考える

第2章

メールやウェブサイトの利用に関する注意点

- レッスン1 気づき…起こりがちな誤送信とよくある不注意
- レッスン2 学び…メールとウェブがもたらす脅威の最新知識
- レッスン3 実践…判断が難しいメールにどう対応するか

第3章

保管・持ち出し・廃棄に関する注意点

- レッスン1 気づき…資料の紛失事例。はたして予測不能だったのか？
- レッスン2 学び…情報資産のライフサイクルを知る
- レッスン3 実践…外出先でPCを使いたい…どうすべきか判断する

第4章

今日からできる情報セキュリティ対策

- レッスン1 気づき…どんなときにも独断はダメでルールを守るべき？
- レッスン2 学び…組織のルールのあり方と、その守り方を認識する
- レッスン3 実践…事故発生！対応の手順を選ぶ

第5章

ISMSの基礎知識

- レッスン1 気づき…情報セキュリティ研修におけるISMSの重要性
- レッスン2 学び…ISMSについて定めた規格の概要
- レッスン3 実践…ISMSのPDCAサイクルにそった運用

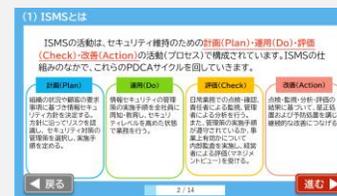
※各レッスンの後に確認テストがあります。

- セルフチェック
- 総合テスト
- コースレビュー
- 付録A: コースポイント集

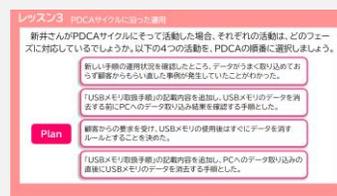
- 受講期間: 6ヵ月 (+ 閲覧期間6ヵ月)
- チュータによる個別指導: なし
- 標準学習時間: 1時間
- PDF資料: あり
- 定価: ¥ 4, 5 00円(税別)



1
気づき



2
学び



3
実践



セルフ
チェック

※ 徹底確認 (最終テストに80%以上正解するまで先に進めないように設定されているコース)と通常コースの2種類をご用意しております。